

ゆに 議会だより

〔第4回定例会〕

水道料金の平均16.04% 値上げ案特別委員会で審査 原案どおり可決

議員報酬月額10%削減を決定

令和2年1月1日から

住民の声を
行政に！

3氏が一般質問

●加藤重夫 登下校時交通安全対策

小中一貫教育推進

●大畠敏弘 移住・定住対策

●大竹 登 公立公的病院再編統合



みんな仲良くつながって！

由仁スキー連盟「スキースクール」(2020.1.12 長沼スキー場)

令和元年 第4回定例会

令和元年第4回定例会は12月11日に召集され、会期を13日までの3日間として開会しました。

諸般の報告（会務、各常任委員会の町内所管事務調査報告）に続いて行政報告が行われ、一般質問は3名の議員が4件の質問を行いました。

付議事件は、条例の制定案2件、条例の一部改正案5件、条例の廃止案1件、令和元年度各会計補正予算案7件、人事案2件、会議案2件、意見書案1件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

	付議事件	主な内容
条例の新規制定・一部改正および廃止	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定	法律の改正により令和2年度から創設される会計年度任用職員制度の導入にあたり必要な事項を定める条例を制定
	第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の規定を整理
	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	保育所の認定こども園移行および経営移管に伴い条例を廃止
	由仁町立保育所条例の廃止	認定こども園に給食を提供することに伴い条例を改正
	由仁町学校給食センター設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	成年被後見人等について、欠格条項で資格を一律排除から、業務に適した能力を個別判断する仕組へ改正
	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適性化等を図るための関係条例の整理に関する条例の制定	災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い条例を改正
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定	上水道料金を令和2年4月使用分から平均16.04%、最大26.25%引き上げ改定
	由仁町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任	黒田良行氏（古川）を選任（再任）することに同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任	清水俊雄氏（三川錦町）を選任（再任）することに同意
会議案	由仁町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	令和2年1月から令和5年4月までの間、議員報酬月額10%を削減
	議員派遣	市町村職員中央研修所への派遣承認
意見書	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出	左記の意見書を採択し、衆参両議院および関係省庁に提出

令和元年度各会計補正予算

(単位：千円)

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額	主な内容	
一般会計		4,866,709	78,918	4,945,627	ふるさと寄附金増加に伴う返礼品および積立金、介護老人保健施設事業繰出金追加、職員人件費の整理など	
特別会計	農業集落排水事業	389,455	△3,918	385,537	職員人件費の整理、消費税額確定による減額など	
	介護保険事業	750,271	3,861	754,132	介護予防給付費の増額	
	後期高齢者医療	91,398	2,329	93,727	後期高齢者医療広域連合納付金の増額	
	水道事業	収益的支出	531,823	△2,486	529,337	職員人件費の整理、借入利息確定による減額など
		資本的支出	351,883	0	351,883	
		合計	883,706	△2,486	881,220	
町立診療所	446,784	256	447,040	職員人件費の整理、備品購入費の増額など		
介護老人保健施設事業	122,214	△4,938	117,276	職員人件費の整理、出張医師報酬、給食業務委託費の減額など		

第6回臨時会

(令和元年11月29日開会)

次の付議事件について慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

付議事件		主な内容
由仁町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定		期末手当の支給率の引上げ(0.05か月分)改定
由仁町長及び副町長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定		<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長および教育長の期末手当の支給率引上げ(0.05か月分)改定 職員の給料表および勤勉手当支給率の引上げ(0.05か月分)改定など
補正予算	一般会計	上記条例改正による議会議員および町長、副町長、教育長の期末手当ならびに職員の給与改定に伴う経費の計上
	農業集落排水事業	
	水道事業	
	町立診療所特別会計	
	介護老人保健施設事業	

住民の声を行政に！



加藤重夫 議員

登下校時の交通安全対策について

問

全国各地において、登下校時における痛ましい交通事故が発生しており、児童・生徒の交通安全対策はこれまで以上に強化していかねばならないと考えています。

文部科学省は、平成25年に「通学路の交通安全の確保に向けた今後の取組」および「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」の通知をしており、学校関係者や保護者などの協力により交通安全対策を計画的に進めることを求めています。

当町のこれまでの登下校時における交通安全体制の確保につ

いて、どのような対策をとっているのか、教育長に伺います。

教育長答弁

安全に通学できるよう歩道・防犯灯の設置、危険箇所の啓発や注意喚起を促しています。

児童生徒が安全に安心して通学できるよう、交通安全対策を推進していくことは、極めて重要なことであると認識しています。

質問のとおり、平成25年の文部科学省からの通知により、児童・生徒の交通安全対策強化が求められており、教育委員会では、調査を行うとともに平成27年に国・道の道路管理者や警察、PTA、町の関係部署との連携により「通学路交通安全プログラム」を策定し、危険箇所の点検作業を実施しています。

この点検結果を踏まえ、歩道や防犯灯を設置するなど、子どもたちが安全に通学できるよう対策を講じてきており、また、学校においては危険箇所に係る啓発や注意喚起を促しながら、交通安全に係る指導をしています。

小中一貫教育の推進について

平成28年4月から制度化された、いわゆる「小中一貫教育」の導入は、教育環境の充実を図る上で効果的な取組であり、その成果を期待しています。

当町においては、来年4月から「小中一貫教育」を導入する準備をしているものと承知していますが、あらためてどのような方針により推進しようとしているのか、教育長に伺います。

教育長答弁

基本方針での「目指す子供像」に向けて、より良い教育環境づくりを進めます

当町の小中一貫教育導入は、令和2年4月と定め、基本方針を策定し、小中学校に示した上で準備を進めています。

その基本方針で、目指す子供像として「ふるさと由仁を愛し、共に未来を創造する、心豊かであぐましい子」を掲げ、義務教育9年間を通して、学校・家庭・地域が



11月27日 夢づくり子ども教育委員会

一体となり子供たちを育てていく教育環境づくりを目指しています。

形態は小学校6年、中学校3年の6・3制を基本とし、①「小中学校での『目指す子ども像』の共有」、②「中学卒業までを見通した一貫した指導」、③「小中学校での豊かな教育環境づくり」、④「子ども同士や教職員間の交流と協働」の4点を基本な考え方として、現在の小中学校校舎を使います。

学校統合が完了し、小中一貫教育のような形が出来上がっているとも考えられますが、学校現場の意識、家庭、地域の意識を一層高めていくことが重要と考えており、制度の導入をきっかけに、より良い教育環境づくりを進めていきます。

住民の声を行政に！



大島敏弘 議員

移住・定住対策について

問

由仁町の農業・農村振興計画によりますと、農家戸数および農家人口は年々減少を続け、高齢化が進行しており、後継者がいない農家が約7割を占めるということが示されていますが、この状況は他の産業においても同様の傾向にあると思われま

す。一方で近年、地方へ移住するUターンやIターンが増加している

と聞いています。当町においても、都市部で働いていた青年が、親元就農をしたり、都市部からの移住により、当町で新規に起業する事例も生まれています。

このように、若い世代の地方回帰の流れがあるとすれば、その潮流を引き寄せ、移住・定住の取組に活用することにより、各産業の後継者対策にも有用と考えますが、町長の所見を伺います。

町長答弁

移住・定住をはじめ、業種を越えた地域の担い手を育成する取組を推進します

都会の喧騒を離れ、のどかな地方や田園の町で暮らしてみたいといった、「地方移住願望」は、都会で働くビジネスマンの思いに少なからずあると言われています。

また、国土交通白書では、三大都市圏に住む20代が選ぶ移住先として、北海道が2位であるという調査結果もあります。

このように、経済一辺倒の豊かさではなく、自然や地域との触れ合いを大切にしたいという若者も増えているとの指摘は確かにあるものの、具体的に当町への移住・定住につなげていく方策は、一朝一夕ではありませんが、現在でき得る取組を二歩ずつ進めることが肝要

であると考えています。

具体的な取組としては、町内のNPO法人が運営する「由仁町移住交流支援センター」を総合窓口

後継者や担い手の不足は、農業の分野のみならず、全産業での課題です。人口減少社会であることを真摯に受け止め、優良な農地をはじめ当町の大切な地域資源を守り、それを次世代に受け継いでいく必要があります。

また、移住希望者や観光客向けの宿泊施設「星降る暮らしの宿いつぽ」が、NPO法人により平成31年4月に開設しており、さらには、令和2年1月に、首都圏で開催される「移住フェア相談会」に参加を予定しています。

従いまして、業種を越えた地域の担い手を育成・確保すべきと考えており、平成29年度から取り組んでいる「由仁町若者担い手育成塾」を通して、マチの将来を担う世代の人材育成に努めています。

また、平成28年に設立した「由仁町縁結び協議会」10名の「縁結び相談員」が、カップリングを目的とする活動を行っているほか、「婚活パーティー」をこれまでに5回開催しています。

この協議会の取組を通して、令和元年、町内の農業後継者2名、会社員1名の計3組の成婚カップルが誕生しました。

町としては、これら移住・定住をはじめ、人材育成などに関する取組を推進するとともに、農業分野においては、引き続き、国の就農資金や農業機械導入助成事業などの活用を推進しながら、農業後継者の育成にも努めていきます。



11月6日 若者担い手育成塾

住民の声を行政に！



大竹 登 議員

公立・公的病院の再編統合について

問

厚生労働省は9月26日、全国の公立病院や日赤、厚生連など1,455公的病院のうち「診療実績が特に少ない」「診療機能が類似・近接」する424病院を再編統合の「再検証」の必要があるとし、公立・公的医療施設名を公表しました。

そのうち北海道では、111病院中54施設が公表され、由仁町立病院も含まれています。

由仁町の場合、既に診療所と老健施設として再編され、患者のUターン現象の増加や訪問診療・訪問リハビリなど通院の足の確保に苦労しているお年寄り

や住民に大変喜ばれていると聞いています。

今後とも住民に喜ばれ、信頼される施設として存続発展を前提に経営改善も含め努力すべきと考えますが、町長の見解を伺います。

町長答弁

他職種との連携を図りながら利用者の増加、経営の改善を図ってまいります

厚生労働省は「地域医療構想ワーキンググループ」において、各都道府県での議論を活活性化させるために、公立・公的医療機関の平成29年度の診療実績データの一部を分析した結果により、一定要件に該当する病院、全国で424病院、道内で54病院を「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関」として公表し、由仁町立病院もその中に含まれ、これを見た町民から「診療所」が無くなるのではないかと不安な声も聴いています。

当町では、国が実現しようとしている医療構想の一つを先取りし、既に有床診療所と介護老

人保健施設への転換を行い、訪問診療など在宅医療を取り入れながら地域の「かかりつけ医」としての役割を果たしながら運営をしています。

国は、今回の取組は一定のデータを分析し、各医療機関が担う急性期機能や病床数について再検証を求めるものであって、必ずしも統廃合や規模縮小などを機械的に決めるものではないとしています。公表された市町村では、地域の実情や実態を何も考慮せず一方的に再編統合を公表したとの厳しい意見が出され、北海道町村会においても、将来の地域医療のあり方について柔軟な対応を求めるため、10月16日、国に「地域医療構想に関する緊急要望」を提出しました。

町立診療所は、現在、常勤医師3名体制で訪問診療患者に対し24時間往診できる体制を確保するなど、在宅療養を拡充しています。その活動が浸透し、外来患者数の増加など経営にも良い影響が現れ、今後も、他職種との連携を図りながら在宅療養を充実し、経営改善を図ってまいります。

次に、「介護老人保健施設ひだまり」においては、定員29名に対し15名弱の利用となってい



多職種が集って情報交換を行っている「一息カフェ」

ます。要因として、特別養護老人ホームとは異なり在宅生活を目指した施設であることから、「終の棲家」として長期の入所施設として捉えられていないことや制度的に利用料金が特養よりも高くなるなど様々考えられます。今後も需要動向を検証し、関係機関との連携を図り、PRをしながら利用者の増加に努めてまいります。

また、令和2年度は、介護保険事業計画の3年に1度の見直しの年度であり、将来に向けた介護保険サービスの方向性が検討されます。町民の健康・安全・安心のために、意向調査の結果を踏まえ、今後の事業展開を考えてまいります。

※医療機関名は平成29年度の実績で作成されたため、由仁町立病院として公表されました。

総務文教常任委員会町内所管事務調査報告

◆調査期日 10月24日(木)

◆調査内容

1 子どもたちの学力向上について

- ①平成31年度全国学力・学習状況調査
- ②標準学力テスト
- ③放課後学習
- ④夏・冬休み学習会
- ⑤学力向上委員会

2 ゆめつく館運営状況について

- ①図書利用状況および資料費
- ②リクエストサービス対応件数
- ③施設修繕状況
- ④給食センター運営状況について
- ⑤新旧施設の運営経費比較
- ⑥残食実態

◆調査を終えて

「子どもたちの学力向上について」テスト結果の対応策として、学力向上委員会により改善策を講じていることが確認できました。放課後学習や夏・冬休み学習会に加え、家庭学習をはじめとした学力向上への取組を期待します。

「ゆめつく館の運営状況について」イベントを数多く行い、「読書通帳」の配布など多くの知恵を出し、入館者確保に努力している印象を受けました。

徐々に老朽化が進んできており、「文化のバロメーター」として必要な施設ですので、適正な維持管理を望みます。

「給食センターの運営状況について」昨年から新施設での運営がはじまり、新旧施設の運営経費比較では、新機器導入により需用費が増加していることから節約に努めていただきたいと思います。

小中学校ともに重量ベースで約3割の残食が確認されました。健康な身体作りのため、データ収集を続け改善への取組を期待します。

- ◆調査期日 10月3日(木)
- ◆調査内容
- 1 主要農作物の生育状況について(空知農業改良普及センター)
- 水稲(ななつぼし)
- 秋まき小麦(ゆめちから)
- 大豆(トヨムスメ)
- てん菜(2K314)
- たまねぎ(北もみじ2000)
- 2 花き(ユリ)の品質状況について(そらち南農業協同組合)
- 出荷概況
- 品質維持にあたり、予冷庫で温度管理し、出荷しています。
- 平成30年度出荷実績
- 9戸 出荷額1億455万円
- 令和元年度出荷経過(9月24日現在)
- 9戸 出荷額8,854万円
- 3 水稲の生育経過や品質状況について(そらち南農業協同組合)
- 生育経過
- 好天に恵まれ成熟は早まる見込みでしたが、9月の気象経過から登熟が進まずこの地域では「平年並み」の収量を見込んでいます。
- 9月6日から収穫が始まり、13日から米賓館での受入れが開始さ

産業厚生常任委員会町内所管事務調査報告

れています。

○収量

全体的に粒が細めで、中米(網上と網下の間の米)が平年よりやや多めに出ています。

○品質

食味の基準となるタンパク値は、全品種ともに0.3〜0.4%程度高く推移しています。

◆調査を終えて

調査の結果、春先から好天が続き、降水量が少なく干ばつ傾向があつたものの順調に生育し、全般的に平年作を見込める状況であり、出来秋に期待しています。



議員報酬月額 10%削減を決定

- 議員報酬の見直し（特例）に関する審査特別委員会報告
（令和元年 11 月 29 日 第 6 回臨時会 委員長 後藤篤人報告）

【報告の要旨】

この特別委員会は、「議員報酬及び定数に関する調査検討特別委員会報告」（議会だより第 155 号参照）を踏まえ、令和元年第 3 回定例会で設置され、議長を除く 9 名で構成し、議員報酬の見直しについて審査を行うこととしました。

10 月 18 日に会議を開催し、委員会の採決を行ったところ、「令和 2 年 1 月 1 日から令和 5 年 4 月 30 日までの間、報酬月額を 10%削減」することに決定し、「由仁町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正」については、第 4 回定例会に会議案として提出予定と報告しました。

- 由仁町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
（令和元年 12 月 13 日 第 4 回定例会 原案可決）

【提案の要旨】

財政状況は今後も厳しい運営が予想されることから、議会としてこれまで同様状況変化に対してスピード感を持った対応が必要であると考えており、「議員報酬の見直し（特例）に関する審査特別委員会」の採決で決定したとおり、令和 2 年 1 月 1 日から令和 5 年 4 月 30 日までの間、報酬月額を約 10%削減する独自措置について、町民福祉の向上と効率的・効果的な行財政運営に努めるものです。

報酬月額の削減内訳

議長 280,000 → 252,000 円
副議長 222,000 → 199,000 円
委員長 205,000 → 184,000 円
その他議員 186,000 → 167,000 円
※削減額 月額報酬のほか関連経費を含め年額約 300 万円

水道料金平均 16.04%値上げ改定

- 水道料金の改定に関する審査特別委員会報告
（令和元年 12 月 13 日 第 4 回定例会 委員長 大竹登報告）

【報告の要旨】

この特別委員会は、令和元年第 3 回定例会において設置され、議長を除く 9 名で構成し、水道料金の改定について 10 月 18 日、29 日、11 月 14 日、25 日、12 月 9 日の計 5 回審査を行いました。

水道料金の改定について、町から提示があった内容は「人口減少による給水収益の減少に伴う対応」と「財源不足を補うための基準外繰入を解消」する 2 点でした。

委員会での審査結果は、「人口減少に伴い給水人口が減少する中においても、企業会計の原則として独立採算による運営が基本であることが理解できるが、提示があった内容では負担が大きくなる利用者が出てしまうことから、委員会の結論としては、一般会計からの一部繰入はやむを得ない」と報告しました。



- 由仁町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
（令和元年 12 月 11 日 第 4 回定例会 審査付託、12 月 13 日 原案可決）

【審議経過】

水道料金を令和 2 年 4 月からの使用分を平均 16.04%、最大 26.25%引き上げ改定する「由仁町水道事業給水条例の一部改正案」については、第 4 回定例会で付議され、議長を除く 9 名で構成する水道事業給水条例審査特別委員会に審査付託となりました。

12 月 11 日に委員会を開催し慎重に審議の結果「原案可決」と決定し、本会議でその報告結果を受け採決を行ったところ、委員会報告のとおり「原案可決」となりました。

議員の出席状況

令和元年5月1日～12月31日

	本会議		常任委員会		議会運営委員会	特別委員会							その他 (全員協議会など)	会議数計		出席率(%)
	定例会	臨時会	総務文教	産業厚生		予算審査	決算審査	議会広報	議員報酬及び定数に関する調査検討	議員報酬の見直し(特例)に関する審査	水道料金の改定に関する審査	水道事業給水条例審査		出席	欠席	
会議日数	6	4	9	6	5	1	2	6	5	1	5	1				
大島敏弘	6	4	/	6	5	1	2	6	5	1	5	1	7/7	49	0	100.0
加藤重夫	6	4	9	/	/	1	/	6	5	1	5	1	7/7	45	0	100.0
早坂寿博	6	4	/	6	5	1	2	6	5	1	5	1	14/14	56	0	100.0
羽賀直文	6	4	9	/	5	1	2	6	5	1	5	1	9/9	54	0	100.0
浮田孝雄	5	4	/	3	/	1	2	/	5	1	5	1	6/7	33	5	86.8
平中利昌	6	4	9	/	/	1	2	6	5	1	5	1	7/7	47	0	100.0
大竹 登	6	4	/	6	5	1	2	/	5	1	5	1	8/9	44	1	97.8
佐藤英司	5	4	9	/	/	1	2	/	5	1	4	1	7/7	39	2	95.1
後藤篤人	6	4	9	6	5	1	2	/	5	1	5	1	14/14	59	0	100.0
熊林和男	6	4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	14/14	24	0	100.0

※一部事務組合の出欠は、含まれていません。

一般質問の状況

	議員名	質問内容
第2回定例会	後藤 篤人	水道料金の改定について
		今後のまちづくりについて
第3回定例会	大竹 登	財源確保と財政運営について
	加藤 重夫	災害対策について
	大竹 登	町財政の健全化について
	羽賀 直文	自治体によるガバメントクラウドファンディング(GCF)について
第4回定例会	早坂 寿博	光ファイバー整備について
	加藤 重夫	登下校時の交通安全対策について
		小中一貫教育の推進について
	大島 敏弘	移住・定住対策について
大竹 登	公立・公的病院の再編統合について	

議会へ町民の皆様の声を届けてください。ご意見、ご要望をお待ちしています。

連絡先

TEL 0123-83-2111 FAX 0123-83-3020

e-mail gikaijimu@town.yuni.lg.jp ※匿名分は除かせていただきます。

議会のうごき

10月

- 29日 水道料金の改定に関する審査特別委員会
(第2回目) (委員会室 委員)
- 29日 国営かんがい排水事業道央用水地区完工式
(札幌市 議長)

11月

- 5日 由仁町総合防災訓練「1日防災学校」
(由仁小学校 議長)
- 6日 京都府城陽市議会会派「城陽絆の会」行政視察
(委員会室 議長)
- 7・8日 由仁町老人クラブ連合会指導者研修会
(音更町 議長)
- 10～12日 空知町村議会議長会道外行財政制度政務調査
(北関東地区 議長)
- 11日 南空知葬斎組合議会第2回定例会
(議場 組合議員)
- 13日 全国町村議会議長会創立70周年記念式典及び
第63回町村議会議長全国大会 (東京都 議長)
- 14日 水道料金の改定に関する審査特別委員会
(3回目) (委員会室 委員)
- 14日 総務文教常任委員会 (委員会室 委員)
- 14日 由仁町町政功労者表彰式 (大会議室 議員)
- 14日 由仁町教育委員会表彰式 (大会議室 議員)
- 15日 道央廃棄物処理組合議会第2回定例会
(議場 組合議員)
- 20日 道央廃棄物処理組合先進地視察研修
(岩見沢市 組合議員)

- 22日 南空知公衆衛生組合議会第2回定例会
(長沼町 組合議員)
- 25日 水道料金の改定に関する審査特別委員会
(第4回目) (委員会室 委員)
- 28日 議長・副議長・委員長会議
(正副議長室 議長ほか)
- 29日 由仁町議会第6回臨時会 (議場 議員)
- 29日 南空知ふるさと市町村圏組合議会第2回定例会
(岩見沢市 組合議員)

12月

- 3日 空知教育センター組合議会第2回定例会
(滝川市 組合議員)
- 4日 議長・副議長・委員長会議
(正副議長室 議長ほか)
- 9日 三役会議 (正副議長室 議長ほか)
- 9日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 9日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 9日 水道料金の改定に関する審査特別委員会
(第5回目) (委員会室 委員)
- 11～13日 由仁町議会第4回定例会 (議場 議員)
- 11日 水道事業給水条例審査特別委員会
(委員会室 委員)
- 13日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)

1月

- 3日 第72回由仁町成人式 (ふれーる 議員)
- 5日 由仁消防団出初式 (町民センター 議員)
- 6日 由仁町新年交礼会 (町民センター 議員)
- 14日 由仁町議会第1回臨時会 (議場 議員)
- 14日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)
- 20日 空知町村議会議長会役員会 (由仁町 議長)



1月5日 由仁消防団出初式

編集後記

令和2年、皆様健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
 昨年12月の第4回定例会は、条例の制定や各会計補正予算案のほか、水道事業給水条例の一部改正案を決議させていただきました。
 昨年の漢字一文字は「令」になりました。今年こそは、災害の少ない安心のできる一文字が選ばれる一年になるよう祈念しています。
 今年は4月から「小中一貫教育」そして認定こども園「にじいろこども園」が開園します。地域とともに見守り、育てていきましょう。
 議会広報は、議会が何を考え、どう行動しているのかを伝えるツールとして大変重要なものです。今後とも町民の皆様により親しまれる「議会だより」を目指したいと考えます。

委員 早坂寿博

議会だよりでは、スペースの都合上、議案や質問・答弁などの内容を要約して載せています。
 由仁町ホームページからも議決結果および会議録をご覧になることができます。

ホームページ <http://www.town.yuni.lg.jp/>